

令和7年度第1回花巻市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

令和7年7月23日（火） 午前10時～11時40分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

（1）委員（11名）

鈴木恵子委員、渡邊康二委員、黒須修一委員、中里美香委員、
内村悦子委員、高野橋加子委員、熊谷恵委員、坂本知彌委員、
佐藤三恵子委員、菅原元委員、白岩拓樹委員

（2）事務局（7名）

菅野生涯学習部長、鈴木花巻図書館長、伊藤大迫図書館長、
辻村石鳥谷図書館長、高橋花巻図書館副館長、八重樫花巻図書館業務係長、
千葉花巻図書館司書

4 欠席者

1名（堀合範子委員）

5 傍聴人

なし

6 議題等（議事録）

◎会議成立の報告（高橋花巻図書館副館長）

- ・委員12名のうち11名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているため、
花巻市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。

1 開会（高橋花巻図書館副館長）

2 あいさつ（坂本会長）

皆さんおはようございます。お暑いところお集まりいただきましてありがとうございます。6年度の実績を踏まえて、7年度の実施状況大切なことでございます。新しい図書館についても、階段を二つぐらい上がったかなと思っております。

明るい希望が見えてくる。そんな会議にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題（図書館協議会規則第6条により、会長が議長となる）

（1）令和6年度花巻市立図書館の事業実績等について

- ・令和6年度花巻市立図書館の事業実績について、花巻図書館から順番に各館から説明。

花巻：鈴木館長、大迫：伊藤館長、石鳥谷：辻村館長、
東和：鈴木花巻図書館長

（質疑）

（○坂本会長）

報告をいただいたんですけれども、これに関してご質問等ございませんでしょうか。はい、中里委員。

（○中里委員）

1ページのブックスタートおよびブックスタートプラスについて二つ質問があります。配布がほぼ100%ということでしたけども、その後は配布できなかった理由をもし差し支えなければ聞いてみたいなのと、あと配布できなかったおうちに郵送とかで届けるっていうのはできないのかなと思い、聞いてみたいです。

（○鈴木花巻図書館長）

配布できなかったのは、保健センターでの検診などにいらっしゃらなかったというのが理由です。また、その方への郵送は行っていません。

（○中里委員）

そうすると、そのうちには本が届いてないっていうことですね。

（○鈴木花巻図書館長）

そうです。それで、その方にお渡しするために、ブックスタートフォローアップという事業をやっているんですが、もちろんそれにもいらっしゃらない方もいます。

(○中里委員)

多分、保健センターに来れないっていう方は図書館にも来づらいのかなって思いますので、おうちに本を届けられればいいなと思います。以上です。

(○千葉花巻図書館司書)

ブックスタートを担当しております、千葉です。事情があって検診に来られない方については保健センターの方で把握しておりまして、その方々には保健センターの方から働きかけをしていますが、それでも来られない事情がおりるところは図書館は介入できないのでお渡しできていません。郵送はコロナ禍では行いましたけれども、直接会って絵本の良さを伝えるっていう趣旨がブックスタートにはございますので、その辺を加味して、今は行っておりません。

(○中里委員)

わかりました。

(○坂本会長)

他にございませんか。内村さんお願いします。

(○内村委員)

大迫の内村です。各図書館でいろんな工夫をして、展示をしたり、ギャラリー一展とかいろいろやって、すごいなというふうに感心してました。

映画会についてお聞きしたいんですけど、結構な人数、映画を見にいらしてるなと思ってんですが、大迫は、担当者の方も一生懸命頑張ってるんですけど、参加者が少ないんですよね。それで、他の地区ではどういう呼びかけってというか、何か工夫してらっしゃるのかなと思って、それをお聞きしたいなと思います。

(○鈴木花巻図書館長)

花巻図書館の場合は、チラシですとか、ホームページ、SNSでの周知で来ていただいている方々もいらっしゃいますし、学童の皆さんにもたくさん来ていただいていますので、そういった方法で人数がある程度上がっているのかなというのが現状でございます。もっと、いろんな周知をする必要があるとは思っておりますが、SNSの活用という部分がまだ遅れていますので、周知の仕方の工夫はまだまだ必要だなと考えております。

(○内村委員)

大人向けの題材も何かありますか。

(○鈴木花巻図書館長)

大人向けの映画会もあります。例えば花巻だと3ページの上から2番目のと

ころに、休日ほっと映画会というのがございます。他の図書館でも大人向けの映画会があります。

(○坂本会長)

広報見ていらっしゃる方も結構多いですね。

(○鈴木花巻図書館長)

はい。広報にも当然掲載しております。

(○坂本会長)

よろしいですか。はい、ありがとうございます。他にございませんでしょうか。はい、黒須さん。

(○黒須委員)

すいません黒須です。今の質問に関連してなんですけど。自分も今回をお聞きして、また事前に計画とかも読ませていただけてるんですが、やっぱりちょっと周知の部分が足りてないというのは現状課題なのかなと思っていて、せっかくここまでの企画をされていて、もったいないなというのが正直なところです。自分、図書館結構が好きで行くんですけど、行けばチラシがあって、こういうときにやってるんだなってわかるんですけど、結局図書館に行った人にしか行ってない。来る人に対しては情報が提供される、もしくは施設が良くなっていくというのがわかるんですけど、やっぱり呼び込むことをしていかないと面白くないなっていう。言い方悪いですけど。せっかくこのメンバーであるのであれば、そこをしっかりとやっていく必要が、新図書館に向けても一緒だとは思いますが、ちょっとその辺は少し具体的に計画をしていただけるとありがたいかなと思いますのでよろしくお願いいたします。

(○鈴木花巻図書館長)

ありがとうございます。検討してまいります。

(○坂本会長)

はい。熊谷委員さん。

(○熊谷委員)

東和図書館の方では、東和町には有線というのがあります。

それで有線で放送しては、きちんと呼び込みっていうのかな、こういうのありますよってということで、大変有線が活躍をしていると思います。

(○坂本会長)

いいですね有線あってね。

(○熊谷委員)

合併するとき、有線はなくすって言われたんですけど、無くさないように頑張ったんです。

(○坂本会長)

頑張ってよかったですね。

(○鈴木花巻図書館長)

東和地域だけにはなってしまいますが、有線は活用してまいります。

(○坂本会長)

他の地域も有線に負けないような何かを作り出しましょう。

(○坂本会長)

他にございませんでしょうか。はい、白岩さん。

(○白岩委員)

白岩です。今PRの話をしたんですが。僕もいろいろサークルやってて。例えば、昨年は一箱古本市をやったりとか。さっきも言ったように雨にも負けず朗読大会が今年2月で打ち切りになって、復活させようとして文化村でやるんですけど、PRするのに、あのすごく大変なんです。例えば広報にあげるのも1ヶ月前に出さなきゃなんないとか。あと、まきまき花巻に載せたりとか。あと、こちらの図書館さんの方にポスターとチラシを置かせてもらってるんですけど、ポスターが貼るところなくてね。多分ね、裏側の新聞閲覧室の方に貼ってあるのが、貼ってないなと思ったら、こっちの玄関になくて、あれ持ってきたのになと思ったら、新聞閲覧室の方に回っていかないと見えない状況なんです。だから、ただ玄関来て、2階上がっても目につかないんで、多分それ物理的に大変なんだろうなと。あとはだから先ほどもありましたけど、ホームページですかね、ホームページはやっぱり結構見るんで、図書館のホームページ。私、予約とか検索とかやるけど、タイムリーな情報というのはなかなか上がりづらい状況になってるんで、ホームページの方も、常に情報発信・更新できるような感じで、していただきたいなと思います。よろしくお願いします。

(○坂本会長)

はい、情報提供の方法についていろいろご意見いただきました。

(○鈴木花巻図書館長)

ありがとうございます。おっしゃっていただいたとおり、花巻図書館は狭いので、貼っている場所がちょっと見づらいということで大変申し訳ございません。できるだけ見やすい場所に貼れるようにはしていきたいと思ひますし、あと図書館関連の情報であれば図書館がメインになるということもありますけど

も、賢治関連であれば、賢治まちづくり課というところで、市のホームページなどにもアップするということをしているはずですので、その辺もご活用いただければと思います。ありがとうございます。

(○坂本会長)

他にはございませんでしょうか。それでは2番目の決算と予算それから統計資料について、副館長からご報告をお願いします。

・決算（見込み）・予算の概要（歳出）について、高橋花巻図書館副館長から説明。

(質疑)

(○坂本会長)

ありがとうございます。この件に関してのご質問、ご意見等ありますか。

はい。佐藤委員さん。

(○佐藤委員)

2ページ目の下の表1-5の移動図書館個人貸出冊数の推移なんですが、石鳥谷図書館は数字を伸ばしてる感じがするんですけども、令和4年度は3,090冊で6年度は4,681冊ってすごいですよね。他のところの数字と比べてね。これに理由があるとすれば、教えてください。

(○辻村石鳥谷図書館長)

コロナ禍の中で貸出冊数が5冊から10冊に変更になったときに、移動図書館の方も10冊に変更いたしまして、あとはそのまま今も10冊貸出しをしているところなので、そこが一番大きいところかなと思います。あとはステーション先として養護施設と老人ホームが昨年度から追加になりまして、その利用者さんが増えたことによりまして貸し出す冊数も増えている要因となっております。あと本のリクエストに対応しておりまして、職員からもお声掛けさせていただいているんですけども、例えばあの本の題名はわからないけれども、作家名がわかっていて、その作家に関わる本を何冊か持っていくことで、選択肢も増えまして、貸し出し冊数も増えるという要因となっております。

(○佐藤委員)

私、近所に酒蔵交流館ってところがあって、そこに行ったときに、30分ぐらい滞在するステーションなんですけど、ある方が走ってきて、高齢のご婦人でしたけれども、時間ギリギリだったんで何でもいから10冊貸してって言って、

その若い司書さんが慌てて選んでるところだったんですけど、でもそういう借り方もありかなって思ったんです。選んでもらいたいって、何か自分では見つけられないけど、その司書の人を選んでくれた本何でもいいから10冊借りたいっていうのもなんか面白い借り方だし、きっとその方は4週間後まで楽しむんだなっていうふうに思いました。以上です。

(○坂本会長)

そういう借り方もあるということですね。自分だと同じような傾向のばかりだから。ほかによろしいでしょうか。

それでは、7年度花巻市立図書館運営方針と事業実施状況についてご報告お願いいたします。

(2) 令和7年度花巻市立図書館運営方針及び事業実施状況について

・令和7年度花巻市立図書館運営方針について鈴木花巻図書館長から、事業実施状況について花巻図書館から順番に各館から説明。

花巻：八重樫業務係長、大迫：伊藤館長、石鳥谷：辻村館長、
東和：鈴木花巻図書館長

(質疑)

(○坂本会長)

ありがとうございました。それではご質問ございませんか。菅原さん。

(○菅原委員)

皆さん、委員の方1人1回発表してるようです私の方も発表させてください。施設の見学対応で6月24日に南城小学校さんが75名というふうにあります、東和図書館さんの方に、南城小学校さんが見学に行かれたっていうことでいいわけですね。

(○鈴木花巻図書館長)

はい。そうです。

(○菅原委員)

南城小学校さんって、花巻図書館が管轄っていいですか、なんかイメージとしてはそんな感じがしたんですが、東和を選んだ理由って何かあったんでしょうかね。去年も同じように南城小学校さんが行かれてるので、もしかして東和さんって魅力があるのかなと思ったりもして。

(○鈴木花巻図書館長)

もちろん東和図書館は魅力のある図書館だと私は思っておりますが、小学校は、どの図書館を見に行くのかはそれぞれ決めてらっしゃいますので、例えばですが、花巻が都合が悪くて受け入れができないから東和に行ったとかそういうことではないはずです。ちょっと東和に聞かないと自信ありませんが、ただ東和図書館は少なくとも花巻よりは、広くて見やすい部分もいろいろありますので、東和図書館を選んで行っていただいていると思っております。

(○中里委員)

うちの子のときは、花巻図書館さんを見学してたんですけど、もしかすると東和方面の他の施設も見学するっていうスケジュールで行ったのかなって。あの、何か所かセットにして回ったりするので、もしかするとそうかもしれないなと思います。

(○菅原委員)

これは遠足か何かなんですか。

(○坂本会長)

あの校長先生もおられますので、いかがなのでしょう。

(○鈴木委員)

すいません本年度来たばかりで昨年度のことはちょっと詳しくわからないんですけども。昨年度、笹間第一小学校も東和図書館ですかね、見学させていただいておりました。先ほどご意見ありましたように、例えば佐々長醸造さんを見学させていただいてとか、いろいろな施設を見学した中でこの東和図書館も見学先の一つとしているのだと思っております。

(○坂本会長)

はい。バス代高いですからね。

(○菅原委員)

でも意見としては、やっぱりこの小学生の方々がこうやって施設見学っていうことで深く知ることが将来にも繋がるんじゃないかということで、いいことだと思います。以上です。

(○坂本会長)

ありがとうございます。他にございませんか。はい、内村さん。

(○内村委員)

資料 2-1 の 4 ページなんですけど、そこに図書館の児童図書の冊数が出てるんですが、大迫図書館の児童図書の数がいやに少ない。児童数も少ないんですけども、もうちょっと多くしてもらいたいなという意見です。

(○坂本会長)

はい。このことに関して、お願いいたします。

(○鈴木花巻図書館長)

はい。私の方からお話させていただきます。先ほど2の資料1-2の予算のお話をした際に、備品購入費のところで、備品購入費の大半が図書購入費だというお話をさせていただきました。その中から花巻図書館が買う分、大迫が買う分、石鳥谷が買う分、東和が買う分とそれぞれに予算を振り分けて図書の購入をしております。花巻図書館が予算的に多くなっておりますが、それぞれの図書館でどんな本を買いたいのか、どんな方法が必要なのかということを再度精査をした上で、新花巻図書館に向けて、と言ってしまうと5年先になってしまいかもしれませんが、できればもっとその前にですね、どの図書館にどれぐらいの予算が必要なのかということを再度考える必要があると思っておりますので、ご要望にどこまでお答えできるかわかりませんが、ご意見を参考に検討させていただきます。

(○内村委員)

ありがとうございます。あと1点ですけども、映画会を開催したときの題名もちょっとこう書いていただくと、いいなと思って、意見です。

(○坂本会長)

そして父になる、みたいにですね。

(○鈴木花巻図書館長)

検討させていただきます。

(○坂本会長)

他にございませんでしょうか。

それでは次に、この阿部暁子さんのトークイベントのチラシは、まだ余裕ありますよっていうお知らせということでいいんでしょうか。

(○鈴木花巻図書館長)

はい。阿部暁子さんのトークイベント。それから、第2回みんなでライブラリーのチラシでございますが、周知にご協力いただければと思います。先ほど、八重樫係長の方から申し上げましたが、今申し込みいただいている方が600人ということで、会場的にはまだ余裕がありますので、まだご参加いただけますという案内をこれから出そうと今準備をしているところですので、周囲の方にお話いただけるとありがたいです。

(○坂本会長)

キャパが1,000人ぐらいあるわけですから、皆さんに聞いていただければいいですね。それでは、議題の1番と2番は終わってよろしいでしょうか。

はい。それでは3番目その他に移らせていただきます。その他について何かございますか。

(3) その他

(○高橋花巻図書館副館長)

その他につきましては、新花巻図書館についての資料を本日お配りしておりますが、検討状況についてということで、生涯学習部長の方から説明いただきたいと思います。

(○坂本会長)

部長さんお願いします。

(○菅野生涯学習部長)

それでは、今日お渡ししました資料に基づいて、新花巻図書館の現在の検討状況ということでお話をさせていただきます。資料をめくっていただきまして、まずはこれまでの状況ということでご覧いただければと思います。

3月21日の教育委員協議会におきまして、新花巻図書館整備基本計画の試案を案とし市民参画手続きを詰めることを承認いただきまして、パブリックコメント、市民説明会、本協議会での審議という三つの手法によりまして市民参画の手続きを行いました。パブリックコメントでは86人の方から133件のご意見をいただきましたし、4地区で行った市民説明会には延べ118人の方が参加されました。また5月13日に図書館協議会ということでご意見等いただいております。これらの市民参画でいただいた意見を可能な部分を反映した基本計画案について5月19日の教育委員会の定例会において、原案の通り可決されたところでございます。この新花巻図書館整備基本計画に基づきまして、市議会の6月定例会で6月10日に新花巻図書館整備に関する設計業務の実施等に係る補正予算案を提出して、原案通り承認いただきましたので、現在設計業務などに関する事務を進めているところでございます。

補正予算の詳細については次のページをご覧ください。

まず、設計業者選定のための公募プロポーザルを実施するということで、設計業者につきましては、通常、業務委託をする場合は入札をしていただいて、金額の少ない業者をお願いするということになりますが、今回は金額によるものではなくて、業者の実績でありますとか、企画力などを評価して、選ぶとい

うプロポーザルを実施して行うということで、それに係る選定委員会の謝礼等を 35 万 9,000 円。また設計業務の基礎データとするため、現地の測量を行う費用として 1,507 万 7,000 円。令和 8 年度から国の都市構造再編集支援事業補助金を活用する予定になっておりますけれども、この補助金を使うためには、都市再生整備計画の策定というのが必要になりますことから、その支援業務の委託料として 1,017 万 5,000 円。これらを合わせて 2,561 万 1,000 円の補正予算となっております。

また 2 番目のところになりますけれども、補正予算に加えまして、債務負担行為というものを設定してございます。債務負担行為というのは、自治体が将来の支払いを決定して、大きな事業や長期的な契約を進める仕組みのことですけれども、新図書館の場合は設計業務を令和 7 年度に契約して 8 年度に支払いするというを考えてございます。そこで令和 7 年度から令和 8 年度まで 2 ヶ年の債務負担行為として設定額を基本設計業務委託費と実施設計業務委託費、合わせて 4 億 800 万円ということで債務負担行為を設定してございます。

設計業務の発注方法についてですけれども、花巻市ではこれはこれまで様々な施設の設計の業務に関しましては、基本設計、実施設計ということで、基本設計というのはどんな感じの図書館を作りますよっていう基本的な部分の設計で、通常はそれを一つの業務として行って、その後、実施設計、これは本当にもう建設に関する詳しい設計になるのですけれども、改めて入札等により業者を選定するという方法をとってきましたけれども。図書館など建物の設計業務における他市の事例を見ますと、工期の短縮ができるなどのメリットもあることから、基本設計と実施設計を分けずに、一つの契約として一括発注するという自治体が多くなっておりますので、花巻市としても可能な限り早期に図書館整備を進めたいということで設計業者を選定するにあたっては、基本設計と実施設計一つの契約として発注したいと考えてございます。

今回の事業は、高度な建築設計技術に加えまして、環境などの制度や合意形成といった幅広い技術力が必要となりますので、一括発注した場合、基本設計と実施設計を継続して行うことから、より優れた業者の参加が期待できることや、一つの契約のもと図書館の設計全体に関与することになるため、分離発注の場合と比較して、設計業務に対する責任が明確化されるということで、設計成果としての質の向上も期待できるというように考えてございます。

また、本業務を市とともに進める最も適した設計業者を選考するために、先ほど申し上げましたように、価格によって業務を設定する入札ではなく、広く

設計提案を募り、提案業者の技術を評価して業者を選定する公募型プロポーザル方式を採用いたします。本業務については相当な業務量が見込まれるために、市内業者だけではなく、市外の業者についても、プロポーザルへの参画を認めたいと考えてございます。

また当地の地域の気候、また特性を踏まえた経験と実績も重要と考えてございますので、市外業者が市内の業者と共同企業体を結成した場合、その場合はプロポーザル審査時に評価点を加えるということも考えてございます。プロポーザルの実施要領については、第1回目のプロポーザル選定委員会を開催しましたけれども、現在事業者の募集公告に向けて調整しているところでございます。選定委員になっていただいている方は、建築の専門家や図書館学の専門家など6名の方で、より良い設計者を選定するために、建築や図書館運営などの分野で活躍する、実績のある専門家の方々に委員を委嘱してございます。委員の皆さんにはそれぞれの専門的な見地から総合的に審査をお願いしたいと考えてございます。

次に最後のページになりますけれども、現時点での開館までの大まかなスケジュールとなります。令和8年度末までに設計を終えて、令和9年度からは用地を取得した上で、建物工事を開始いたしまして、令和12年度のできるだけ早い時期の開館を目指すというようなスケジュールで考えてございます。

簡単ですが現在の状況ということでご報告いたします。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。この点に関して、ご質問ある方いらっしゃいますか。はい、白岩さん。

(○白岩委員)

白岩です。やっと建設場所も決まってですね、内容はこれからですねってよく言われるんですけど、内容に関してももうほとんど基本計画に載ってきているのではないかなと思うんですが。基本計画の最後の方に、これから新しい図書館の具体的な設計に入るんですが、引き続き市民の声を聞く機会を設けるって書いてあるんですね。このスケジュールの中で見た感じ、令和8年の基本設計と実施設計を同時進行していく中でそれをやるのかどうかわかんないんですけど、要は今年から来年に掛けてそういう、何かそういう市民の意見を聞くプロセスとか仕組みとか機会を何か想定してるのがあれば、今までみたいなワークショップとか市民会議とかそういうのを何か想定してるのがあれば教えていただきたいなと思います。

(○菅野生涯学習部長)

はい。先ほど申し上げたように、基本設計ではこんな図書館になりますよっていう大体の絵をお見せできるような形になりますので、そういったものをお見せしながら、ご意見を伺いたいというのが基本的なところですよ。基本計画の中にも書いていますが、駅前の広場の使い方、それについて当初市の案では、芝生広場にして緑を増やすというような計画をしておりましたけれども、地元の商店街等からも、今広場でいろんなイベントを開催しておりますし、祭りのときも山車を置いて活用しているということで、その広場を今のまま残してほしいというようなご意見をいただいておりますので、そこら辺をどうするかというところは声を聞きたいなと思っています。それによって図書館を現在2階建てでと考えておりますけれども、広場を広く取るために3階建てにするというようなことも考えられますので、市民の意見を聞いてということで考えてございます。基本設計の中でということになりますので、多分、今年度内ということになると思いますけれども、ワークショップ形式等でご意見を伺いたいと思ってございます。詳しいところは設計業者が決まって、その業者と打ち合わせしながら具体的なことを検討していくことになると思いますけれどもそういう機会を考えてございます。

(○坂本会長)

はい。ありがとうございます。よろしいですか。他にはありませんか。あと5年ですね。その他はもう終わってよろしいですか。

それでは事務局の方に進行をお返ししたいと思います。

4 その他

(○鈴木花巻図書館長)

私の方から一つお話しさせてください。

先ほど、昨年度の事業の中で介助犬のお話をさせていただきましたが、もう一度紹介させてください。介助犬は現在全国に57頭、そのうち2頭が花巻にいて、障害のある飼い主さんの手助けをして活躍してる犬です。その飼っている方をユーザーさんっていうんですけども、そのユーザーさんは、介助犬のことをもっと沢山人たちに知ってもらうために、いろいろなところで介助犬のお話をするという活動をされています。昨年の図書館に事業をきっかけに市内の小学校3年生の福祉の勉強をする時間に呼んでもらって、子どもたちの前で介助犬のお話をして犬と触れ合うということもありました。

介助犬は10歳になると引退するそうですので、花巻にいる2頭がいつまでいるかわかりませんが、偶然こんな近くにいるという機会を活かして、介助犬という犬がいて障がいのある方の生活のお手伝いをしているということや、介助犬はスーパーやレストランなどにも入れるということが法律で決まっているというようなことをもっと子どもたちや、子どもだけじゃなくteお店を経営されている方々などにも知っていただきたいと思っています。

ぜひこの介助犬が花巻にいるという機会を活かしてですね、PRにつながる機会を皆様にもご検討いただけたらありがたいと思ひまして紹介させていただきました。ご相談いただければ、ユーザーさんにおつなぎいたしますので、お声がけいただければと思います。よろしくお願いします。

5 閉会（高橋花巻図書館副館長）